

# 物流施設の構造的特徴



## 施設全景

本図は、市川物流センターⅡを事例として説明を行っています。



## 外壁

壁面に断熱性の高い金属性サンドイッチパネルを採用することで快適な作業空間を提供するとともに、省エネにも貢献しています。



## 庫内

有効柱間隔10~11m、基準階天井高5.5m、基準階床荷重1.5t/m<sup>2</sup>と標準的な施設仕様を備えています。



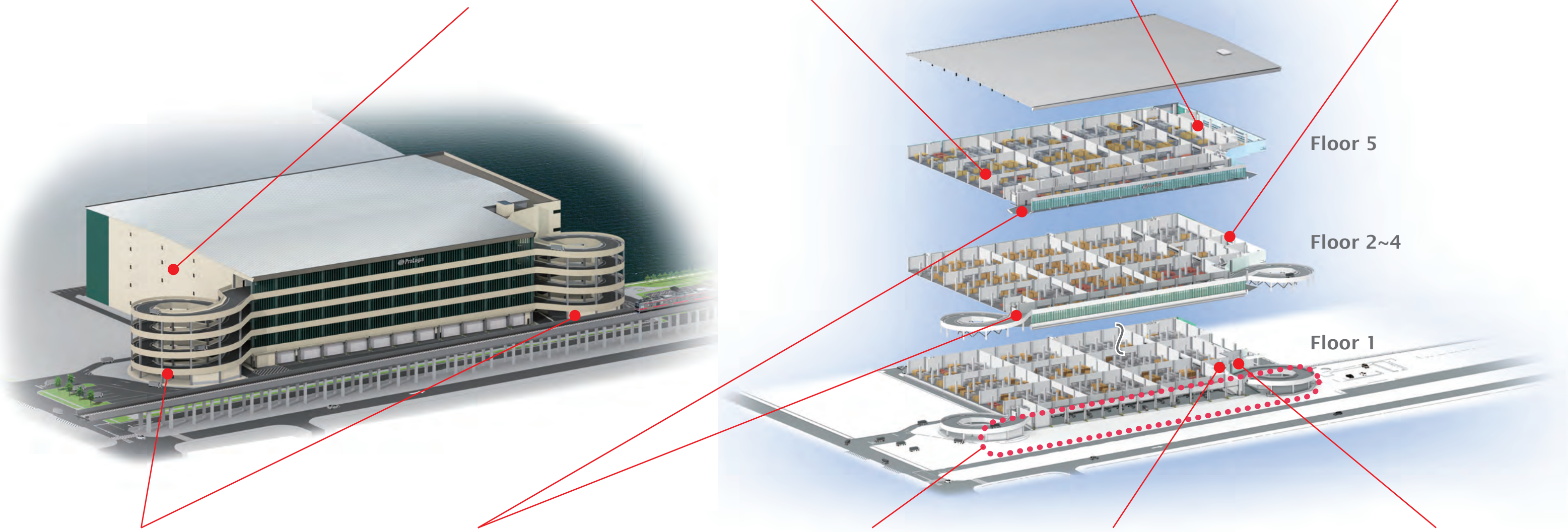
## カフェテリア

最上階にカフェテリアを設置することにより、施設で働く方々に憩いの場を提供しています。



## 事務所スペース

IT対応、個別空調など都心のオフィスと遜色のない環境を提供しています。



## ランプウェイ

マルチテナントでの利用を想定し、各階に車両が直接アクセスできるランプウェイを2か所（上り専用及び下り専用）備えています。



## トラック（接車）バース

20台の大型車両が接車できる高床式トラック（接車）バースを各階に設置しています。



## 免震装置

大地震発生時の荷物と従業員の安全確保を目的として、免震構造を採用しています。



## 防災センター

最新のセキュリティシステムを導入し、24時間体制で施設の安全管理を行っています。



## エントランス

バリアフリーに対応した仕様となっています。